

患者の皆様へ

2023年2月1日

公益財団法人 日産厚生会玉川病院 消化器内科、外科

S状結腸軸捻転（以下本疾患）は大腸が捻じれてしまう疾患で早期に診断し緊急内視鏡行い捻じれを解除しないと緊急手術となり時に死に至ることもあります。また再発を繰り返すことも少なくありません。そこで玉川病院では本疾患症例に対し患者背景、経過等の検討を行っています。そして、この研究により本疾患の適切な診断、治療方針の決定に役立てていきたいと考えています。つきましては過去に本疾患入院患者様の診療情報（カルテ記載、血液検査、レントゲン、CT、内視鏡画像等）を利用します。新たに追加検査等負担をお願いすることはありありません。個人情報には完全に匿名化し漏れることのないよう最大限の配慮を行います。情報不適切な使用が発覚した場合は速やかに情報の訂正、追加、削除等の対処を行います。状況に応じ研究所長、病院長の判断で情報の利用を停止します。

研究課題名

当院におけるS状結腸軸捻転症例の検討

研究の意義、目的

S状結腸軸捻転は緊急対応を要し対応が遅れると手術や時に死に至る疾患で、また再発を繰り返すことも少なくありません。今回本疾患で当院に入院した患者様の年齢、性別、基礎疾患、検査所見、治療内容、合併症、再発の状況等について検討し再発、手術のリスク因子等を考察したいと考えています。

研究の方法

既存の診療録から得られた診療情報を後ろ向きに抽出、集計し統計的に解析を行います。新たに追加検査をお願いすることはありません。

研究へのお問い合わせ、参加拒否について

本研究における診療情報の利用の詳細に対してのご質問や、ご協力頂けない場合は下記までご連絡下さい。結果の公表前であれば随時対応いたします。ご遠慮なく申し付け下さい。

本研究は文部科学省厚生労働省が定める「人を対象とする医学研究に関する倫

理指針」(平成 26 年 12 月 22 日改正)に基づいて掲示しています。

研究実施機関 公益財団法人 日産厚生会玉川病院 消化器内科

本研究のお問い合わせ先 公益財団法人 日産厚生会玉川病院

電話 03-3700-1151 (代表)

消化器内科 永嶋裕司

消化器外科 安野正道